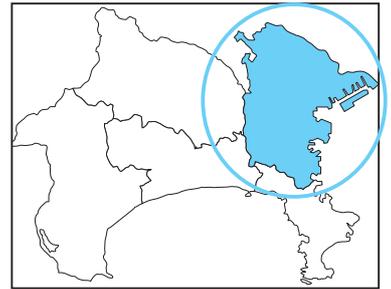


川崎・横浜地域圏における主な取組み

世界と、神奈川そして日本の交流・結節地域として、これまでの文化や産業の集積を生かした生活環境や生産環境の整備を進め、良好な環境が保全され、にぎわいや活力があふれ、世界とつながる文化や産業を発信し、国際性豊かで魅力ある地域づくりに取り組んでいます。



主な取組み

* 1 神奈川口構想

羽田空港の再拡張・国際化の効果を京浜臨海部や県全体の活性化につなげるため、多摩川を渡る連絡路を整備するとともに、空港の対岸地域に、再拡張・国際化に対応した新たな交流拠点を形成する構想です。

* 2 インベスト神奈川

県内への企業誘致や既存企業の県内再投資を促進し、県内への産業集積を図ることを目的とした神奈川県産業集積促進の方策です。

1 国内外の人々が交流し、活力と魅力あふれる地域づくり

神奈川や首都圏の利用者にとって望ましい羽田空港の再拡張・国際化の実現に向けた国への働きかけを行うとともに、羽田空港への連絡道路について、関係機関と検討を進めるなど、神奈川口構想（*1）の実現に向けた取組みを推進しました。

また、総合的な交通ネットワークを形成するため、高速横浜環状南線などの自動車専用道路網の整備促進や、神奈川東部方面線、横浜市営地下鉄4号線（グリーンライン）などの鉄道の整備を支援しました。

さらに、良好な市街地形成のため、武蔵小杉駅南口地区の市街地整備事業などを促進しました。



グリーンライン

2 地域産業の活性化と国際的な拠点作り

京浜臨海部の産業の活性化を図るため、コンビナートの高度化やロボット関連企業の掘り起こしなどの取組みを推進したほか、横浜繊維など地域産業の商品開発に取り組み、「インベスト神奈川」（*2）により市と連携して、企業を誘致しました。

また、産業技術の向上を図るため、産学公による共同研究や企業への技術支援を進め、東部総合職業技術校を2008年4月に開校しました。

国際的な拠点づくりとして、市とともに韓国のメディアなどを招聘し観光客誘致を促進したほか、横浜開港150周年に向けたイベントを実施しました。さらに、本県の文化芸術の拠点として県立新ホール「神奈川芸術劇場」の建設工事に着手しました。



東部総合職業技術校

3 安全で安心してくらするまちづくり

石油コンビナートの防災対策や、高圧ガス事業者などの自主保安活動の促進に取り組みました。また、治水対策として鶴見川では川和遊水地が完成したほか、土砂災害を防止するため、急傾斜地崩壊防止施設の整備を進めました。



川和遊水地（地下鉄車両基地の地下を利用）

4 都市の自然環境の保全と創造

貴重なみどりを保全・活用するため、野川地区で県民との協働による里地里山の保全活動を実施し、トンボ池などの整備を実施しました。また、保土ヶ谷公園などの整備を行うとともに、平瀬川支川、和泉川の多自然護岸の整備を行いました。

生態系の保全と回復のため、防除実施計画に基づき、アライグマの捕獲、被害予防対策などを実施し、横浜市内7か所でアマモ場の再生や保全に取り組みました。また、地産地消の取組みとして、川崎市麻生区で大型直売センターの整備を支援したほか、漁業者が実施するシヤコなどの水産資源の回復に対する取組みに支援しました。



県民によるアマモの移植作業・海の公園（金沢区）

地域圏の課題と今後の対応方向

羽田空港の再拡張・国際化や国際港湾機能の強化に向けた都市拠点や交通網の整備を進めるとともに、産業構造の転換や経済活動のグローバル化に対応するため、既存産業の高度化や新たな産業の創出・育成などにより、国際競争力の高い産業拠点の形成に向けた取組みを進めます。

また、国際性豊かな歴史や文化を生かし観光や文化芸術の振興を図るとともに、災害時の被害を最小限に抑えることや防犯体制が構築されたまちづくりを進めます。

さらに、都市に残されたみどりを保全、活用するほか、特定外来生物等による被害や重要水産資源の減少に対応するため、野生鳥獣の被害防除や漁場環境の改善を図ります。